手塚治虫アニメーション作品の
絵コンテ・設定資料のデジタル化

株式会社手塚プロダクション

概要／課題

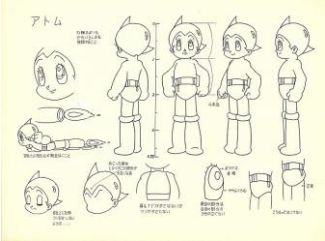
手塚治虫作品は日本のアニメーション文化の発展において多大なる貢献を果たしており、「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」をはじめとする数多の作品においては、日本だけでなく世界のアニメーションに大きな影響を与えてきました。それら作品のアニメ制作の過程において発生した中間成果物である絵コンテや設定資料（キャラクター設定、メカ・小物設定、美術設定など）は、資料として非常に価値が高いものですが、紙に鉛筆で描かれているものも多いため、経年劣化、酸化は進行していきます。特に劣化が著しい手塚アニメ作品の絵コンテ及び設定資料をデジタル化することで保存と後の活用につなげていくために本事業に取り組みました。

体制／手法

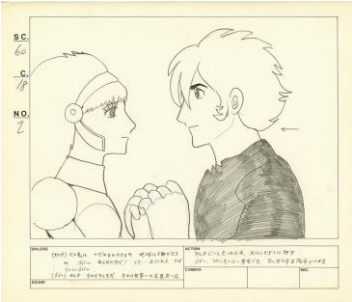
・絵コンテ整理、修復作業〈手塚プロダクション〉
・デジタル化スキャン及びPDF化作業〈手塚プロダクション／株式会社スマートゲート〉
400dpi 手置きスキャニング
→絵コンテ：1話ごとのPDFファイルにて保管
設定類：資料形態によってPDFまたはTIFFファイルにて保管

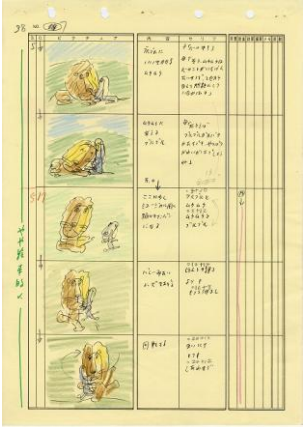
成果

(成果物)
対象作品
・虫プロダクション及び手塚プロダクションTV作品
・劇場作品
・アートアニメ作品　他



『鉄腕アトム』キャラクター設定


『火の鳥2772　愛のコスモゾーン』
レイアウト


『やさしいライオン』絵コンテ
（やなせたかし作）

(公開方法)
・ HPにて情報、データ化絵コンテ・設定リスト公開（ExcelまたはPDFファイル）
手塚プロダクション

(残された課題)
・残りの手塚アニメ作品の中間成果物「絵コンテ」「設定」のでデジタル化の継続
・効果的な活用方法の模索(電子書籍、展示など)

(文化的・社会的・経済的な意義)
手塚アニメの絵コンテのクリエイターは、手塚治虫をはじめ山本暎一、杉井ギサブロー、出崎 統、富野由悠季、高橋良輔、りんたろうなど現在の日本のアニメを代表する監督たちが、多数参加しています。また、寺沢武一、大島やすいち、高橋信也など多数の漫画家やアニメーターが設定や準備稿のクリエイターとして参加しています。アニメ業界の後進の育成などにも活用できればと考えています。